

令和2年度 学校評価報告

草加市立新里小学校

(令和3年2月1日作成)

1 学校教育目標	
学校教育目標	かしこく(知) なかよく(徳) たくましく(体)
目指す学校像	誇りの持てる学校 新里小 (1) 明るく楽しい学校 (2) 凡事徹底を図る学校 (3) 地域とともに子どもを育てる学校
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
○基礎的・基本的な知識の習得と自ら学ぶ力の育成を目指す ○基本的な生活習慣の育成を目指す ○学校・家庭・地域との連携の強化を図ることを目指す	成果 ○学力向上を目指しての校内研修により、教員の授業力が向上し、児童の基礎基本の定着が図れた。 課題 ●学力の向上、幼保小中一貫教育の推進、不登校児童対策

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標、方針 校務分掌組織 適所への適材配置 職員会議等の運営 予算の執行・決算、監査等 	B	○校務分掌を見直し、教員を適材適所に配置するとともに会議の精選などを行い、確実な校務遂行を図ることができた。 ○予算執行にあたり、管理職の点検・外部監査と現金管理に留意して会計事故0が維持できた。 ●校務分掌の組織運営の見直し
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 研究組織、計画、実施 校内研修の推進 授業改善への取組 校外研修会への参加 人材育成 	B	○研修推進委員会を中心に国語科の授業研究を核とした校内研修により、指導法改善と学力向上に向けて成果をあげた。 ○計画的に示範授業、年次研修等研究授業を実施し、学び高め合う教職員集団となった。 ●若手教員とミドルリーダーの育成
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画、安全計画 環境衛生の管理 健康観察、安全点検 緊急事態発生時の対応 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	○学校保健計画に基づいて、全教職員で共通理解を図り、保健安全と環境安全など適正に対処した。 ○日々の健康観察や安全点検を確実にを行い、児童の健康管理と安全管理の徹底を図った。 ●緊急事態発生時の対応と危機管理マニュアルの点検
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理、保護 施設設備の管理と有効利用 	A	○個人情報を含む情報管理の徹底するため、校内規定を周知するとともに、倫理確立委員会を核とした校内研修会を実施して、共通理解を図った。 ○定期的な安全点検での危険、修繕箇所を把握し、市教委とも連携して迅速に対応した。 ●個人情報等の管理の徹底
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校運営協議会の推進 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	A	○HPの随時更新や各種便りにより、情報発信の充実を図った。 ○定期的に学校運営協議会を開催し、地域とともにある学校に向けての基盤作りができた。 ●積極的な地域人材の活用と地域との交流活動
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像の共有 15年間を通じたカリキュラムの編成 一貫教育推進のための組織づくり 	B	○両新田中学校区として計画に沿ってできる限り、交流を行った。 ○小中の連携を密にして、授業規律、家庭学習の取組など共通理解を図った。 ●さらなる幼保小中一貫教育の推進

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育計画のもと、教育活動を実施・評価・検討し、改善を図ることができた。 ○各教科及び領域の授業時数の確保を図ることができた。 ●学力向上を核とした教育活動の見直しと取組の継続
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの観点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内授業研究や研究協議を通して、全校で統一した指導の徹底を図り、教員の授業力向上を推進した。 ○ICTを有効活用しながら、各教科の授業の充実を図った。 ●教員のさらなる授業力の向上
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳部会を中心に研修会や授業研究を実施して、道徳の授業力向上を図った。 ○全体計画に基づき、全教科領域において道徳的実践力の育成を図った。 ●道徳の指導法と評価の研究
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTと連携しながら、外国語活動の充実に努めた。英語ルームの掲示物等、環境整備を行った。 ●教員の授業力向上
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○指導計画に基づいた学級活動を実施することができた。 ○学校行事は新型コロナウイルス感染防止を徹底し、内容等を精選して実施できた。 ●学校行事の内容の精選
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとり課題を追求する調べ学習など計画に基づいて実施できた。 ●年間指導計画の見直しと内容の精選
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会、いじめ防止対策委員会を中心に情報交換や報告・連絡・相談の徹底、関係機関との連携等で早期発見・早期対応することができ、成果をあげた。 ●不登校児童、配慮を要する児童への対応
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や職業について学級活動等の学習を中心に具体的なイメージ化を図った。 ●キャリア教育の指導計画の見直し
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床心理士や草加かがやき特別支援学校のコーディネーターの助言などを個別支援に生かした。 ○計画的に通常学級の交流を増やし、充実させることができた。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○司書教諭、学校司書を中心に読書環境の整備を図り、読書好きな児童が増加した。 ○第2図書館の整備と教員の意識改革により、読書活動が充実した。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的にICTを活用した授業を実施して、指導法に生かした。 ○携帯・スマホの使い方など情報モラル教育を推進した。 ●ICTを効果的に活用した指導方法の研究
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修等を通して、教員の人権教育に対する意識の向上を図った。 ○各教科や道徳等と関連させて、指導することができた。 ●校内研修の充実と人権教育計画と内容の改善

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・書く活動の研究 ・読む活動の研究 ・家庭学習の研究 	B	<p>○学力向上推進委員会を中心に指導体制の改善、指導法の研究を図り、成果をあげた。</p> <p>○授業研究の積み重ねにより、教員の授業力が向上し、児童の基礎基本の定着が図れた。</p> <p>○保護者と連携し、家庭学習の啓発に努め、少しずつ定着してきた。</p> <p>●基礎基本の定着と活用能力の育成</p>
	②健康・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進組織の活用 ・授業外での健康体力の向上 ・家庭との連携 	B	<p>○体力向上を目指した体育の授業と体育的諸活動の充実を図った。</p> <p>○保健部会を中心に学校保健委員会とも連携して、家庭への歯磨き指導など健康教育の啓発を図った。</p> <p>●体育科授業改善（新里モデルの徹底）</p>
	③家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中の連携 ・学校応援団との連携 ・学校運営協議会の推進 ・地域人材の活用 	B	<p>○学校応援団の協力による安心安全の見守り活動などの充実が図れた。</p> <p>○計画的に学校運営協議会を開催し、地域に根ざした教育を推進した。</p> <p>●幼保小中一貫教育の推進、地域人材の活用</p>

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

○国語科を中心とした校内研修の実施により、お互いに高め合う教職員集団となり、教員の授業力向上と児童の学力向上を図ることができた。

○地域やPTA、関係機関との連携によって、児童の登下校等安心安全が学校づくりを推進することができた。

○読書活動推進委嘱の取組や図書環境の整備充実により、児童の読書熱を高めることができた。

○不登校対策委員会を中心に支援チームを組み、関係機関とも連携して当該児童及び保護者に寄り添う支援を行い、成果をあげた。

○組織的・積極的な生徒指導を行い、迅速な対応を心がけ、早期発見・早期対応に努めた。

6 次年度の改善策

○校内研修の充実を図り、教員の指導力向上とミドルリーダーの育成を図る。

○学力向上推進委員会を中心に本校の現状と課題を明確にし、改善策を検討して児童一人ひとりの確かな学力の向上を図る。

○組織的な積極的な生徒指導の継続と教育相談の充実により、児童一人ひとりに寄り添った支援を行い、いじめ根絶、不登校児童ゼロを目指していく。

○幼保小中一貫教育の充実に向けてさらなる連携の強化、教職員間の共通認識を図りながら研究を進めていく。